

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は、現在の会社に勤務して約2年が経過します。それまでに勤務していた会社は地質調査の業務を主体とした会社でしたが、現在の勤務先では地質調査業務のかたわら、法面工事やコンクリート補修工事等の現場管理を行っています。私が技術士資格を受験しようと思いついたのは、当時小学生だった長男が「大人は勉強しなくても怒られないからいいよね」の一言からでした。そこで親たるもの子供に自らの身をもって学ぶことの大切さを教えようと考えたわけです。時が経ち1次試験の受験から数年後、長男に合格したことを教えたところ、たった一言「へ〜……」、この数年の自分の姿を息子はどう見ていたのかと思うと、何とも情けないやらガッカリするやら。しかし私たち技術士は、日常業務のなかで自らの仕事の結果を解りやすく的確に相手に対して伝える能力が必要とされています、あわせて周囲の人に技術士として求められている人格を有していることを示さなければなりません。私は今回の技術士試験の試験官が我が子でなかったことに安堵していると共に、さらに自らのスキルの向上に日々努力する必要があると感じているところです。最後になりましたが、今年3月におきた大震災やこの原稿を書いている時に起きている豪雨災害において被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また被災された方たちが一日も早く元の生活に戻られる日が来ることを心から願っております。

伊藤 貢 (いとう みつぐ)

● 応用理学部門(地質)

勤務先

株式会社 ランド・ラボ
e-mail : m.itou@landlabo.co.jp



→ 次号は、渡辺 司さん(応用理学部門)

1998年(平成10年)に生田原町に技師として採用されましたが当時は、公共事業も下降気味の時代、人口3千人程度と小さい町ということもあり4年目からは1人で土木事業を任せられる。

任せられてもまだまだ知識不足・経験不足のペーパー「まあ何とかなるさ」といった気持ちで仕事をしますが、何せ知らないことばかりでしたので

分からないことがあったらとにかく隣町、北海道、コンサル、建設会社の方々に聞きまわりました。

おかげで、今では分からないことがあったら恥ずかし気もなく聞く事ができる、聞き上手となつてしまいました。

勤めてから8年目(平成17年)には平成の大合併で近隣の3町村と合併、新「遠軽町」の職員として一気に増えた技術者の一人として仕事をしておりますが聞き上手の反面、たいして集中していない状態では伝え下手であるため、自分の考えが上手く伝わらないことに日々難儀しております。

ともあれ、分からないことがあればいつも教えてくださる方々に感謝、私を雇ってくれている遠軽町に感謝、遠軽町の公共事業を受注し頑張っている民間企業の方々に感謝、私の家族や先輩・後輩・同僚に感謝といった、私に関係している多くの方々や社会にいつもありがたい気持ちを忘れずに、これからも前向きに頑張っていこうと思っております。

大澤 公浩 (おおさわ きみひろ)

● 建設部門
(施工計画、施工設備及び積算)

勤務先

遠軽町経済部建設課



→ 次号は、市橋加代さん(上下水道部門)